

悪性腫瘍に対するネオアンチゲン由来ペプチド 感作樹状細胞ワクチン療法の探索的臨床研究に参加

当院は、この度、医療法人社団滄志会 瀬田クリニック東京 院長 瀧本理修を研究責任者とする、悪性腫瘍に対するネオアンチゲン由来ペプチド感作樹状細胞ワクチン療法の探索的臨床研究に参加することとなりました。

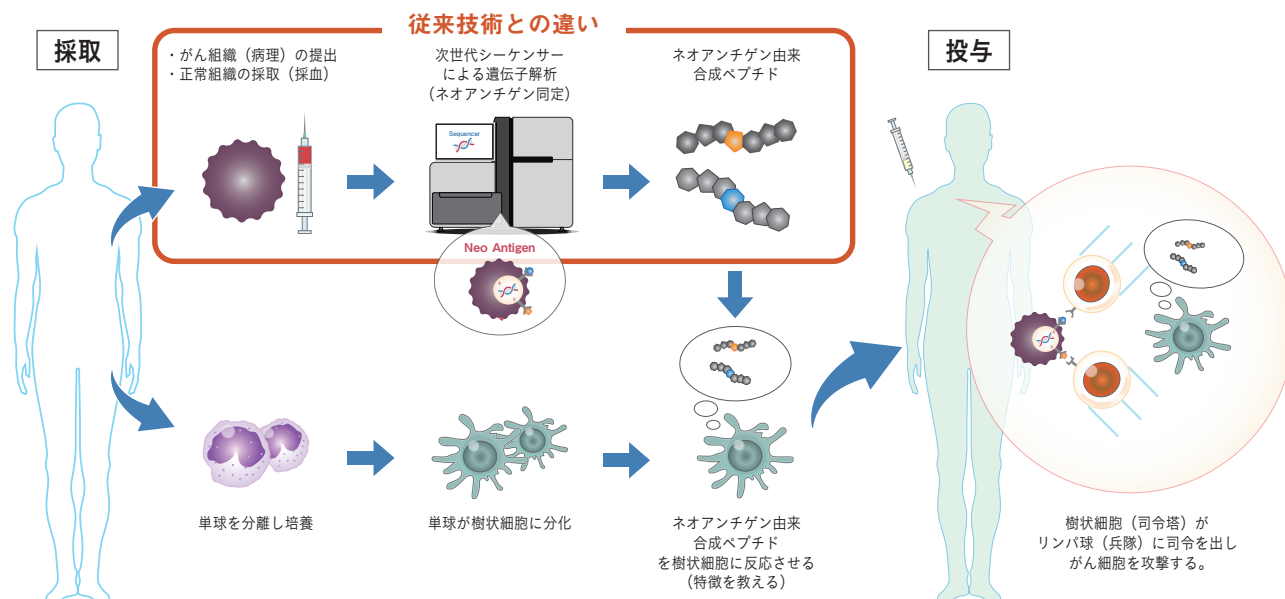
ネオアンチゲンは腫瘍特異的変異抗原とも呼ばれ、がん細胞独自の遺伝子変異が起き、新しく生じた抗原のことをいいます。また、正常な細胞には発現しておらず、がん細胞だけにみられます。ネオアンチゲンはひとりひとりの患者さんで異なるため、遺伝子解析において個々の患者さんの免疫応答、がん細胞、がん組織の環境などの特性を解析することが重要となります。

そこで、遺伝子解析にて患者さん個人のネオアンチゲンを同定し、それを用いた樹状細胞ワクチンを開始いたしました。

臨床研究実施計画番号：jRCTc030190182

以上

ネオアンチゲン樹状細胞ワクチン療法の概要



※ 本治療は「有償研究」として実施していますので予めご了承ください。

< 本件に関するお問合せ先 >

医療法人 新産健会 LSI 札幌クリニック 〒065-0013 札幌市東区北13条東1丁目2-50

TEL.011-731-6669 FAX.011-711-1337 E-mail: takamaru@s-sanken.com 医療連携室 課長 高丸 誠二